

## 事務事業評価における総括

部 局 名	文化生涯学習部	記入責任者	村上 穰介
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>文化生涯学習部では、38の政策的事業のうちS評価は8事業、A評価は16事業、B評価は1事業、C評価は4事業、Z評価は7事業、実績なしは2事業となりました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、所管施設においても休館や利用制限を設けた中での運営や多くの事業の中止を余儀なくされる中、工夫しながら事業を実施し、S及びA評価が24事業であったことから、一定の成果は得られたと考えています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「人権同和対策に関すること」事業では、広報紙や市広報番組、パンフレットの作成など様々な媒体で性的マイノリティに関する啓発活動を行い、令和3年4月からの茅ヶ崎市パートナーシップ宣誓制度の円滑な導入に繋がったことから、S評価としました。</p> <p>C評価とした「総合型地域スポーツクラブの育成事業」などについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実績値が減少したものです。今後のワクチン接種などにより、感染者数が減少した場合には、実績値が増加するものと推測しています。また、「生涯学習機会の提供」事業では、人を集めての開催が困難となったことから、オンライン講座開催を支援するためのセミナー等やまなびの市民講師によるオンライン講座を開催し、今後の事業展開に繋げることができました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>未だ新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない中、今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、感染防止対策を徹底した上で次のとおり事業を実施します。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により次期茅ヶ崎市文化生涯学習プランの策定を当面の間延期したことに伴い、令和3年3月に「当面の間の文化生涯学習事業推進方針」を策定しました。今後は「施設の特性を活かした運営」や「まちの新しい文化をつくるための人材育成」など、本方針に掲げる7つのポイントを勘案し事業を展開していきます。</p> <p>令和3年3月に策定した「茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考え方」に基づき、今後の茅ヶ崎市総合計画における実施計画の策定状況や、新型コロナウイルス感染症等の状況を見ながら感染防止対策を行い、施策を展開していきます。</p> <p>計画期間を延長した「第2次ちがさき男女共同参画推進プラン」に基づき、固定的性別役割分担意識の解消や、男女の地位の平等を確保するため、引き続き意識啓発に取り組みます。また、次期プランの策定に向けた検討やその他の事業を進めるにあたっては、社会情勢の変化や市民ニーズを取り入れ、従前の手法等にとらわれることなく効率的、効果的に行います。</p>			